

第2節 資源循環プロジェクト

『もったいない』の心を大切に、まずは、ごみの発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）の2Rに力点をおいてごみを減らし、それでも出たごみは再生利用（リサイクル）により資源の循環的利用を推進します。

指標	評価	平成22年度	平成23年度	目標値 (平成32年度)	担当課
ごみ搬入量 (再生資源搬入量を除く。)(万t)	C	10.5	10.4	9.10	企画総務課
家庭系ごみ搬入量 (万t)		6.08	6.10	5.37	
事業系ごみ搬入量 (万t)		4.42	4.30	3.73	
平成23年度の主な事業 ごみの分別説明会を10回開催し、ごみの適正分別を啓発しました。年2回の環境イベントには約6,000人の市民が参加し、減量啓発作品やリユース活動に触れていただきました。また、生ごみ焼却量の減量を図るため、汚泥との混合により堆肥化し、市民に譲渡しています。					

1 一般廃棄物の現状

家庭系ごみ（家庭から排出されるごみ）は、平成11年3月の全市9種分別（燃やせるごみ、燃やせないごみ、大型ごみ、有害ごみ、プラスチック製容器包装、空き缶、ガラスびん、ペットボトル、飲料用紙パック）の導入を契機に減量が進み、平成23年度の搬入量はピーク時の平成10年度より約29%減少しています。

また、事業系ごみ（事業所等から排出される一般廃棄物）も3R（Reduce、Reuse、Recycle）に取り組む事業所の増加やごみ減量の種々の施策により、平成13年度以降減量が進み、平成23年度の搬入量はピーク時の平成12年度より約28%減少しています。

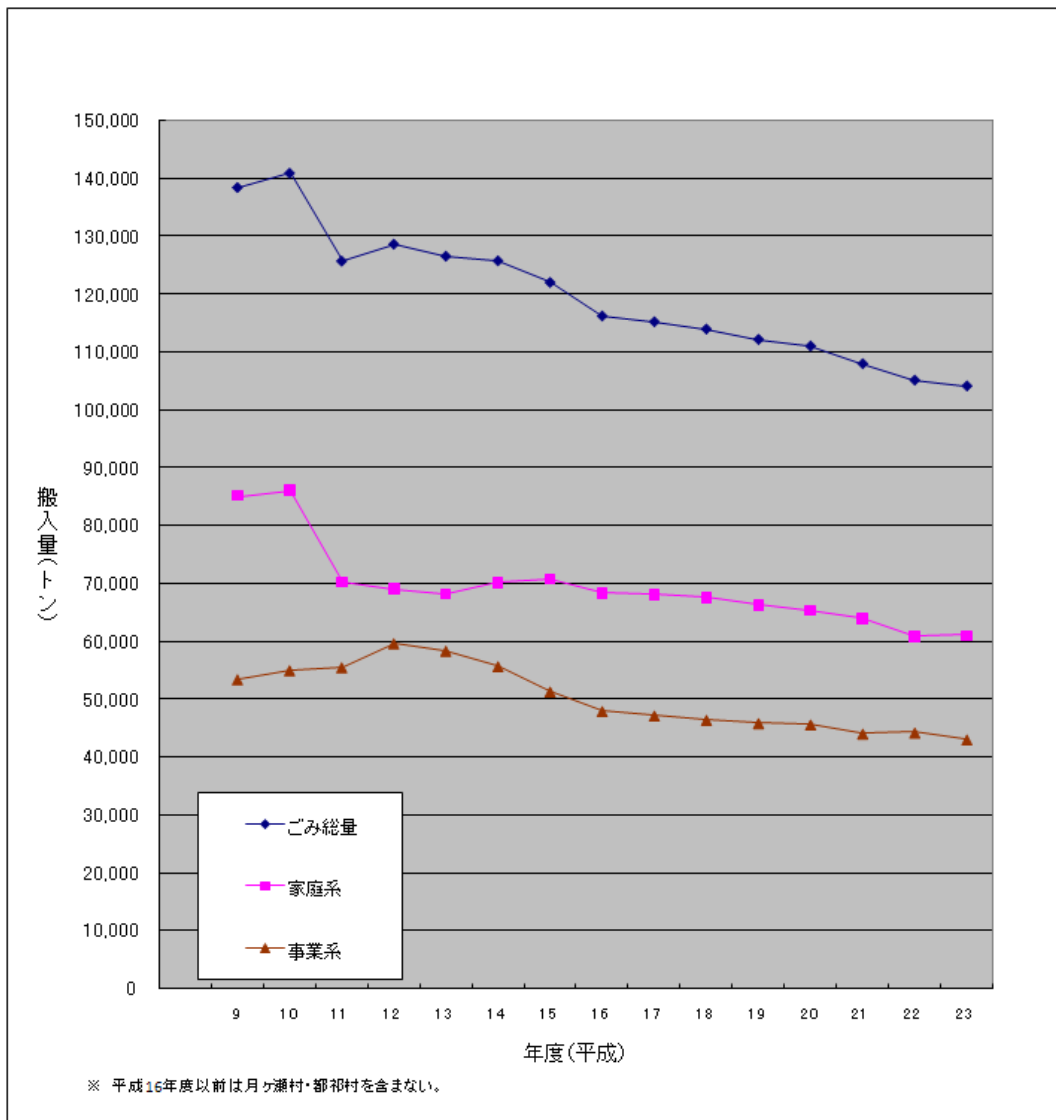
平成23年度のごみ総搬入量のうち、家庭系、事業系ともに80%以上を占める可燃ごみの減量が今後の廃棄物の発生抑制の課題となります。

（表2-7）年度別ごみ搬入量（単位：トン）

年度	ごみ 総搬入量	家庭系ごみ 搬入量	事業系ごみ 搬入量	対前年度増減率		
				総搬入量	家庭系	事業系
9	138,498.58	85,075.00	53,423.58	-	-	-
10	140,995.61	86,011.66	54,983.95	1.8%	1.1%	2.9%
11	125,706.03	70,197.25	55,508.78	-10.8%	-18.4%	1.0%
12	128,663.33	68,998.79	59,664.54	2.4%	-1.7%	7.5%
13	126,560.77	68,172.17	58,388.60	-1.6%	-1.2%	-2.1%
14	125,765.05	70,079.96	55,685.09	-0.6%	2.8%	-4.6%
15	121,998.64	70,717.75	51,280.89	-3.0%	0.9%	-7.9%
16	116,179.29	68,276.33	47,902.96	-4.8%	-3.5%	-6.6%
17	115,174.68	68,055.96	47,118.72	-0.9%	-0.3%	-1.6%
18	113,906.84	67,537.15	46,369.69	-1.1%	-0.8%	-1.6%
19	112,101.59	66,300.39	45,801.20	-1.6%	-1.8%	-1.2%
20	110,951.10	65,380.16	45,570.94	-1.0%	-1.4%	-0.5%
21	107,873.34	63,876.20	43,997.14	-2.8%	-2.3%	-3.5%
22	105,019.60	60,843.65	44,175.95	-2.6%	-4.7%	0.4%
23	104,005.40	61,039.71	42,965.69	-1.0%	0.3%	-2.7%

※ 平成16年度以前は月ヶ瀬村・都祁村を含まない。

(図2-8) ごみ搬入量の推移

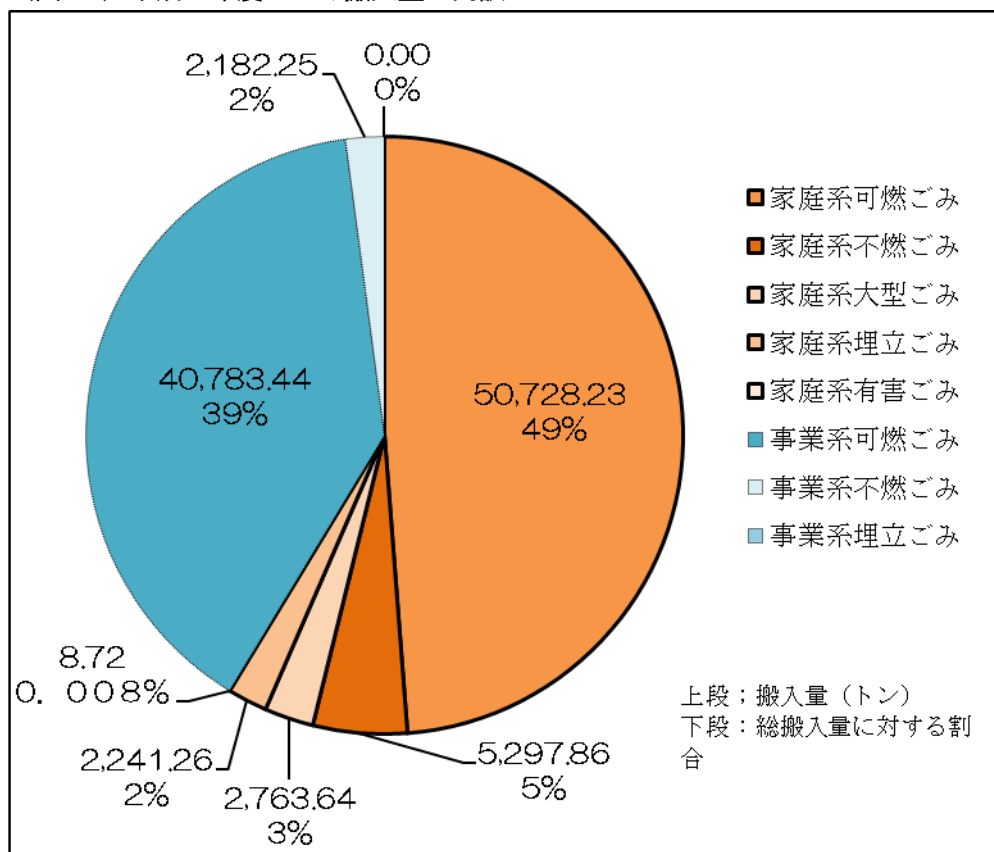


(表2-8) 平成23年度のごみ搬入量

系列	ごみの種類	搬入量(トン)	総搬入量に対する割合	系列に対する割合
家庭系	可燃	50,728.23	49%	83%
	不燃	5,297.86	5%	9%
	大型	2,763.64	3%	5%
	埋立	2,241.26	2%	4%
	有害	8.72	0.008%	0.017%
	小計	61,039.71	59%	100%
事業系	可燃	40,783.44	39%	95%
	不燃	2,182.25	2%	5%
	埋立	0.00	0%	0%
	小計	42,965.69	41%	100%
総搬入量		104,005.40	100%	

※ 四捨五入のため、各数値の和が合計に一致しないことがある。

(図2-9) 平成23年度のごみ搬入量の内訳



【実施事業】

1 再資源化事業

(1) 再生資源収集

平成4年7月から空き缶と空きびんの分別収集をモデル地区で開始し、平成9年12月にはペットボトル・飲料用紙パックを回収品目に加え実施してきました。

全市での再生資源分別収集として、平成11年3月22日から、空き缶・ガラスびん・ペットボトル・飲料用紙パック及びプラスチック製容器包装の分別収集を開始し、再資源化を図っています。

(表2-9) 再生資源収集の回収実績

単位：kg

種別	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
空き缶	アルミ	225,147	219,288	207,373	198,099	195,680
	スチール	307,261	284,109	234,136	264,922	224,297
	計	532,408	503,397	441,509	463,021	419,977
ガラスびん	1,877,240	1,886,378	1,783,543	1,795,388	1,755,911	
ペットボトル	383,560	384,535	393,090	385,575	382,605	
紙パック	77,970	74,456	70,065	68,045	66,901	
合計	2,871,178	2,848,766	2,688,207	2,712,029	2,625,394	

種別	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
プラスチック製容器包装	5,025,460	2,892,360	2,709,250	2,862,790	2,743,490

(2) 小・中学校空き缶回収

奈良市立小・中学校の児童・生徒に対する環境教育の実践活動として、ごみ減量と再資源化を推進するため、市内の小中学校で平成3年7月から、児童・生徒が持ち寄った空き缶を、市が回収しています。

(表2-10) 小・中学校空き缶回収実績

単位：kg

種 別	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
アルミ	2,256	2,105	2,170	1,342	480
スチール	2,124	2,130	2,265	1,548	516
合 計	4,380	4,235	4,435	2,980	996

(3) 公共施設資源回収

平成4年9月から、公共施設における空き缶回収を開始し、平成9年12月にはペットボトル・飲料用紙パックを回収品目に加え、現在、市役所・出張所・行政センター・公民館・人権文化センター・連絡所、保健所等を拠点として回収を行い再資源化を図っています。

(表2-11) 公共施設資源回収実績

単位：kg

種 別	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
空 き 缶	アルミ	18,653	17,888	19,767	19,868	17,085
	スチール	27,979	26,832	24,817	29,805	25,627
	計	46,632	44,720	44,584	49,673	42,712
ペットボトル	39,435	39,645	40,940	46,600	40,770	
紙パック	7,110	6,894	7,560	8,865	8,559	
合 計	93,177	91,259	93,084	105,138	92,041	

(4) 環境清美センター内資源回収場での資源回収

環境清美センターに自己搬入された再生資源を分別回収し、ごみ減量と再資源化を図っています。

(表2-12) 環境清美センター内資源回収場での資源回収実績

単位：kg

種 別	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
空 き 缶	アルミ	24,504	23,656	23,578	29,477	29,486
	スチール	33,866	35,480	35,366	44,215	44,230
	計	58,370	59,136	58,944	73,692	73,716
ガラスびん	136,030	136,172	134,977	140,422	143,739	
ペットボトル	34,575	35,910	33,750	39,145	34,905	
紙パック	6,030	5,460	4,815	5,550	5,940	
合 計	235,005	236,678	232,486	258,809	258,300	

種 別	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
新 聞	295,510	252,360	191,640	146,080	152,680
雑 誌	393,090	366,120	356,590	355,750	376,970
ダンボール	259,220	253,750	236,770	185,550	198,400
布 類 等	140,810	136,200	139,310	128,030	157,190
合 計	1,088,630	1,008,430	924,310	815,410	885,240

(5) 発泡スチロール製食品トレー回収

平成7年度から市役所・出張所・行政センター・公民館・人権文化センターを回収拠点として、発泡スチロール製食品トレーを回収し、ごみ減量と再資源化を図っています。

(表2-13) 発泡スチロール製食品トレー回収実績

単位：トン

平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
1.09	1.02	1.47	1.04	1.21

(6) 生ごみ処理機器購入助成

生ごみ処理機、生ごみ堆肥化容器（コンポスト容器・EMボカシ容器）を購入する市民に対して助成金を交付し、家庭内で発生する生ごみの自家処理を促進しています。

○助成内容

- ・ 生ごみ処理機 購入価格の2分の1（限度額20,000円）で1世帯1基
- ・ 生ごみ堆肥化容器 購入価格の2分の1（限度額5,000円）で1世帯2基以内

(表2-14) 生ごみ処理機器購入助成実績

単位：件

種別	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
生ごみ処理機	78	80	47	38	29
生ごみ堆肥化容器	74	97	113	62	56
合計	152	177	160	100	85

2 平成23年度のごみ減量啓発キャンペーン

(1) ごみ減量及び美化に関する啓発作品（ポスター）の募集
（夏休み期間中）

廃棄物問題に対する意識啓発を目的に、市内の小・中学校からごみ減量及び環境美化に関する啓発作品（ポスター）を募集しています。

*応募総数 小学校42点・中学校66点の計108点



(2) 「環境フェスティバル2011」の開催
（6月5日開催）

6月の環境月間にちなみ、ごみ処理の拠点である環境清美センターにおいて施設見学会や市民から公募した方々の参加によるフリーマーケット等を開催しました。出店団体数は約60団体でした。



(3) 「ならクリーンフェスタ」の開催
（10月30日開催）

10月が3R推進月間であることにちなみ、ごみ減量及び美化に関する啓発作品の入賞者の表彰式とポスター作品の展示、リサイクル機関車100年号の運行等を行いました。

